

ドラッグテクノロジー

ドラッグはなぜ重要なのか？

カメラをコントロールするには動作抵抗（ドラッグ）が必要です。ドラッグは行き過ぎを防ぎ、不要な動きを吸収し、見た目にはほとんど分からない、細かな調整を可能にします。

ヴィンテンのドラッグ技術はなぜ最良の解決法なのか？

ドラッグは不可欠なものです。システムの設計が適切でないと逆効果になることがあります。よくあるドラッグシステムの設計では（図1）、パンやチルトの速度に比例してドラッグは増加します。するとホイップパンは不可能になり、フレーミングの微調整も困難になります。

ヴィンテンのドラッグシステムなら、あらゆる移動速度で完璧なカメラコントロールが行えます。ヴィンテンのドラッグシステムのグラフでは、動き始めに摩擦が急勾配を描いて増大します。したがって、短時間で最大のコントロール性が得られ、撮影に欠かせないゆっくりした動作や細かなフレーミング調整が可能になります。カメラの移動速度が速くなると摩擦曲線は浅くなり、パン&チルトヘッドの軽さと動かしやすさはそのままに、高いコントロール性で被写体を追い続けることができます。

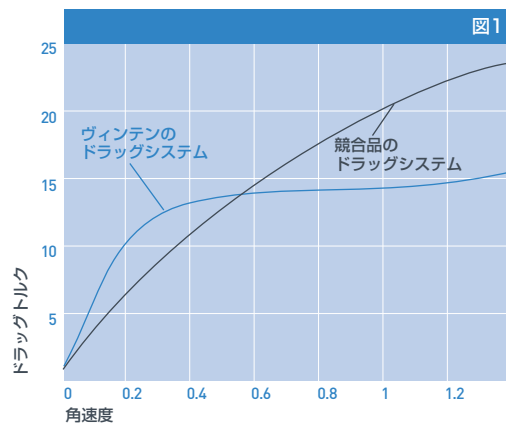
撮影対象を外してしまった場合でも、ヴィンテンの特許ドラッグシステムでは、ドラッグを緩めずに、ただちにホイップパンができます。例えばスポーツ中継のように、近くの動作を追うための軽いドラッグ、ロングフォーカスショットのための高いドラッグが共に求められるような用途に最適です。

ヴィンテンのパン&チルトヘッドは無段階調整方式を採用しています。ドラッグの強弱は、あらかじめ設定された数段階の中から選ぶのではなく、作業条件に最適なレベルをカメラマン自身が設定できます。

メリット：

- ☑ 無段階の自在な調整が簡単に行えます
- ☑ ドラッグをゆるめずに、瞬時にホイップパンが可能です
- ☑ 設定がすばやく行え、設定の再現も簡単に行えます
- ☑ 照明付きドラッグノブ [ヴィジョン11以上]

ドラッグ性能の比較



Lubricated Friction LFドラッグ – ヴィジョン3、6、8、11およびベクター90

ヴィンテンのLFドラッグは、独自の潤滑流体を使った、無段階調整が可能なドラッグシステムです。ドラッグレベルの微調整が行いやすく、どのドラッグレベルでもホイップパンが行えます。LFドラッグには、以下のような特徴があります。

- ☑ 無段階ドラッグ調整
- ☑ 高いコントロール性によるホイップパン動作

Thin Film TFドラッグ – ヴィジョン100、250およびベクター450、750、950

ヴィンテンのTFドラッグ技術は、密閉されたドラッグユニット内の、特別に調合したグリースの薄膜で隔てられた可動プレートを採用しています。TFドラッグは、LFドラッグシステムの特長に加え、以下のような特徴があります。

- ☑ 非常に軽いものから非常に重いものまで、ドラッグコントロールできる範囲が拡大
- ☑ -40℃ ~ +60℃の広い温度範囲に対応
- ☑ 抜群の「ホイップパン・コントロール」動作

ヴィンテンのドラッグシステムは、あらゆる動作レベルにおいて完璧なコントロールを可能にします。